

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		人間ドック・脳併用ドック健診助成事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000394	
						単独/補助	単独		030201	
政策体系	政策体系上の位置付け		0107 社会保障制度の健全運営				所属課		国保年金課	
	総合計画の施策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				課長名			
	政策名		07 社会保障制度の健全運営				グループ		国保年金G	
	手段名		①医療保険制度の充実				担当者名			
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	国民健康保険特別会計			
	02	06	01	01	01	00	保健衛生普及事業			
法令根拠	桜川市国民健康保険条例第10条						単年度繰返し (平成22年度～)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
平成22年度より、桜川市の30歳以上75歳未満の被保険者に対し、「人間ドック」「脳併用ドック」等健診費を助成することにより健康に対する自覚を高め、かつ被保険者の健康の保持増進を図り、国民健康保険事業の健全な運営に寄与することを目的としている。	4月中に申込受付。健診機関で予約後、申込・申請者で要件を満たす(国保資格あり、国保滞納なし等)方に交付通知。健診後、健診機関からの請求により、助成を行う。 助成金は人間ドック20,000円・脳併用ドック40,000円

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
4月中に申込受付。健診機関で予約後、申込・申請者で要件を満たす方に交付通知。健診後、健診機関からの請求により、助成を行う。	人間ドック・脳併用ドック助成者数	人	725.00	741.00	780.00	780.00	780.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
30歳以上75歳未満の桜川市国民健康保険被保険者	国民健康保険被保険者数 (年度末現在)	人	8,156.00	7,678.00	7,500.00	7,300.00	7,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
被保険者の健康の保持増進を図るため、人間ドックと脳併用ドックの費用を助成することで、疾病等の早期発見する機会を促すことで重症化を防ぐ。	受診率	%	8.89	9.65	10.40	10.67	10.98
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	21,049	23,242	32,078			
		事業費計 (A)	千円	21,049	23,242	32,078			
	正規職員従事人数	人	11.00人	5.00人	5.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)		07年度事業費 予算 (千円)	
	10 需用費	312	10 需用費	418
11 役務費	1,030	11 役務費	1,366	
12 委託料	10,339	12 委託料	18,426	
18 負担金補助及び交付金	11,561	18 負担金補助及び交付金	11,868	
	合計	23,242	合計	32,078

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	桜川市の30歳以上75歳未満の被保険者に対し、「人間ドック」「脳併用ドック」等の健診費を助成することにより健康に対する自覚を高め、受診率を向上させる。	桜川市の30歳以上75歳未満の被保険者に対し、「人間ドック」「脳併用ドック」等の健診費を助成することにより健康に対する自覚を高め、受診率を向上させる。	桜川市の30歳以上75歳未満の被保険者に対し、「人間ドック」「脳併用ドック」等の健診費を助成することにより健康に対する自覚を高め、受診率を向上させる。

事務事業名	人間ドック・脳併用ドック健診助成事業	事務事業No.	10701000394	所属課	国保年金課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成20年度より、特定健診・保健事業が義務付けられ健康に対する関心が年々高まってきた。平成22年度から、被保険者が健康状態を自覚し、予防、早期発見、早期対策することで重症化を防ぎ、医療費の抑制が図られること目的として開始された。平成25年度には、受診者の対象年齢を40歳以上から30歳以上の被保険者とすることで、受診対象者を拡大した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 被保険者の健康状態の自覚と疾病の早期発見、早期治療は、疾病の重症化を防ぎ医療費の抑制につながることから結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 被保険者の健康状態の自覚と疾病の早期発見、早期治療は、疾病の重症化を防ぎ医療費の抑制につながることから妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 受診結果・総合所見等により適宜再検査等を受けることになっていることから向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 被保険者の健康状態の自覚と疾病の早期発見、早期治療を促す助成制度であることから、健診意欲を削ぎ、疾病の重症化による医療費増加が予想されることから影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 被保険者自身の健康管理、健康づくりの自覚が医療費の抑制につながること及び申し込み方法及び受診時の助成券交付などの事務を工夫し簡素化しているため削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の被保険者が対象であり公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 人間ドック630名、脳併用ドック150名の定員を設定しており、予算の範囲内で助成を行っている。また、窓口混雑緩和のため申請方法に電子申請を導入し、混雑緩和だけではなく申請が手軽に申請できるようにしている。また他健診が未受診の方を対象に積極的に受診を勧め令和6年度は人間ドックの受診者が前年度より増加した。																											
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○								低下								
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持	○																												
低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------